

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：遺伝子・染色体検査研究班 提出日：令和 4 年 8 月 12 日 報告者：山田 敦子

行事種別	研究会	行事番号	220002343	
開催日	令和 4 年 7 月 9 日（土）～ 22 日（金）			
時 間	開 始	—	終 了	—
場 所	Web 配信（オンデマンド配信）			
テーマ	がんゲノム医療について			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司 会	なし			
講 師	1. 血液培養の進め方 -質量分析のない当院での血液培養検査- 稲沢厚生病院 中島 裕人 2. 質量分析と遺伝子検査を血液培養検査に活かすには -実運用から見てきたメリット・デメリット 日赤愛知医療センター名古屋第二病院 原 祐樹 3. 血液培養における遺伝子検査の必要性 愛知医科大学病院 山田 敦子 4. Syndromic Approach(臨床症状別アプローチ) による臨床貢献 - FilmArray®を用いた網羅的解析の実現- バイオメリュー・ジャパン株式会社 臨床学術部 藤吉 章雄			
内 容	血液培養の運用を中心に遺伝子検査の有用性を考える研究会であった。 講演 1 ～ 3 では、異なる施設の血液培養の運用の紹介とともに、迅速化に取り組む工夫等をそれぞれの視点から解説した。実運用に利用しやすい内容であり、有意義であったと思われる。 講演 4 は、メーカーから多項目解析遺伝子検査について情報提供をしていただいた。新しい知見を得、これからの遺伝子検査の運用について考える機会になった。			
参加者	総数：170 名（会員 94 名、県外会員 76 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、レポート提出者 131 名）			
共催、後援など	なし			

2022.8.12

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：遺伝子・染色体研究班 提出日：令和 4 年 11 月 16 日 報告者：山田 敦子

行事種別	研究会	行事番号	220008518
開催日	令和 4 年 10 月 15 日（土）～28 日（金）		
時 間	開 始	—	終 了 —
場 所	Web 配信（オンデマンド配信）		
テーマ	がんゲノム医療について		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	小牧市民病院 藤田 智洋技師 愛知県がんセンター病院 平松 可帆技師		
講 師	1. がんゲノム医療への向き合い方 ～臨床検査技師が成功の力ギを握っている～ 慶応義塾大学病院 柳田 絵美衣 2. リキッドバイオプシーによる遺伝子パネル検査と臨床応用 愛知県がんセンター病院 ゲノム医療センター センター長 衣斐 寛倫 3. コンパニオン診断における遺伝子検査の精度管理 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 郡司 昌治		
内 容	この講演会では「がんゲノム医療について」をテーマに、がんゲノム医療において臨床検査技師としてどのように向き合うか、またパネル検査の臨床応用や精度管理など最新の話題についての講演していただいた。 講演 1 では、検査技師としてのがん遺伝子検査への向き合い方、検査技師の技量と検査の質の関係など、具体的な内容が多く大変参考になった。 講演 2 では、医師の視点から講演して頂き、リキッドバイオプシーで遺伝子プロファイリングができる最新の知見を拝聴した。 講演 3 では、遺伝子検査の精度管理を主とした講演で、精度を保つため検査技師が意識しておかなければならないことを再確認することができた。 がんゲノム医療の現状を知ることで、今後のがんゲノム医療について考える良い機会になった。経験年数などによっては、難解なところもあったと思われるが、新しく知見を得ることができ有意義であったと思われた。		
参加者	総数：164 名（会員 113 名、県外会員 51 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：215 名		
共催、後援など	なし		

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：遺伝子・染色体研究班 提出日：令和 5 年 3 月 11 日 報告者：山田 敦子

行事種別	研究会	行事番号	220018744
開催日	令和 5 年 2 月 11 日（土）～24 日（金）		
時 間	開 始	—	終 了 —
場 所	Web 配信（オンデマンド配信）		
テーマ	令和 4 年度愛臨技精度管理報告・遺伝学的検査における個人情報の取扱いについて		
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点		
司 会	なし		
講 師	1. 令和 4 年度 愛臨技精度管理調査報告 胎児生命科学センター 鈴木 翔太 2. 遺伝情報の取り扱い ～個人情報保護の点から～ 名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター 森川 真紀		
内 容	この研究会では、「令和 4 年度愛臨技精度管理報告」と「遺伝学的検査における個人情報の取扱いについて」の 2 つの講演をして頂いた。 講演 1 では、愛臨技で初めて実施された SARS-CoV2 検査の愛知県下の外部精度管理を中心に、文章設問の解説、アンケート結果を報告した。 講演 2 では、遺伝カウンセラーの方から、11 年ぶりに遺伝学的検査・診断ガイドラインが改訂され変化してきた医療における個人情報の取り扱いについて講演して頂いた。 新しく知見を得ることができ有意義であったと思われた。		
参加者	総数：87 名（会員 43 名、県外会員 44 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：109 名		
共催、後援など	なし		

2023.3.11